



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場会社名 八洲電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3153 URL <https://www.yashimadenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 太田 明夫
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営統括本部長 (氏名) 織田 富造 (TEL) 03(3507)3349
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,528	△1.2	164	51.2	205	21.3	118	△56.0
2019年3月期第1四半期	13,693	△10.2	108	△51.7	169	△38.6	270	△56.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 101百万円(△69.8%) 2019年3月期第1四半期 336百万円(△57.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	5.51	—
2019年3月期第1四半期	12.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	51,644	19,744	37.5
2019年3月期	58,783	20,089	33.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,372百万円 2019年3月期 19,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	6.0	2,400	2.2	2,600	3.0	1,700	△7.4	78.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	21,782,500株	2019年3月期	21,782,500株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	214,634株	2019年3月期	214,634株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	21,567,866株	2019年3月期1Q	21,681,239株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続いておりますが、通商問題の動向や円高基調にある為替相場の影響もあり依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは2019年6月に新しく港区芝公園にエンジニアリングセンターを移転集約するなど、エンジニアリングビジネスユニットを中心とした技術・営業の事業展開を強化し、また、インフラソリューションビジネスユニットを中心とした製品販売力の強化により、事業規模と収益の拡大を目指しております。また、情報・通信機器などの販売・電気工事・保守などを行う「八洲情報システム(株)」、九州地区の電力会社に水力発電機器の販売、保守・メンテナンスを行う「(株)西日本パワーシステム」が営業を開始し、グループ戦略における事業規模の拡大を図っております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は135億28百万円(前年同四半期比1.2%減)となりましたが、高付加価値案件の増加により、営業利益は1億64百万円(前年同四半期比51.2%増)、経常利益は2億5百万円(前年同四半期比21.3%増)と大幅な増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に特別利益(固定資産売却益)が2億55百万円計上されていたため、1億18百万円(前年同四半期比56.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①プラント事業

鉄鋼分野では、一部の大型案件に工期の見直しがあり、売上時期が変更となったため、売上高は低調に推移しました。

石油・化学プラント・非鉄分野では、石油・化学プラント関連の保全工事が順調に進捗し、売上高は堅調に推移しました。

その結果、プラント事業の売上高は29億64百万円(前年同四半期比12.4%減)、営業利益は62百万円(前年同四半期比41.4%減)となりました。

②産業・交通事業

産業機器分野では、設備機械関連のセットメーカーからの注文製品の受注及び都市部を中心とした再開案件の継続により、売上高は好調に推移しました。

一般産業分野では、製造業向け電源設備工事やセキュリティー設備工事等が予定通り進捗し、売上高は堅調に推移しました。

空調設備分野では、設備投資、老朽化更新需要による空調機器の販売や空調設備工事等が順調に進捗し、売上高は堅調に推移しました。

交通分野では、列車運行システム関連の大型工事が計上されたことにより、売上高は好調に推移しました。

その結果、産業・交通事業の売上高は88億17百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業利益は4億66百万円(前年同四半期比23.0%増)となりました。

③電子デバイス・コンポーネント事業

産業機器分野では、需要低迷と慎重な生産計画を背景に多くの分野で前年割れが続く中、省力化関連投資案件と顧客潜在需要の発掘に注力した結果、売上高は堅調に推移しました。

その結果、電子デバイス・コンポーネント事業の売上高は17億45百万円(前年同四半期比6.0%増)、営業利益は62百万円(前年同四半期比53.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は516億44百万円で、前連結会計年度末に比べ71億39百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金(86億62百万円から113億5百万円へ26億43百万円増)、電子記録債権(43億70百万円から55億22百万円へ11億51百万円増)が増加した一方、受取手形及び売掛金(275億46百万円から166億51百万円へ108億94百万円減)が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は318億99百万円で、前連結会計年度末に比べ67億94百万円減少しております。主な要因は、前受金(36億71百万円から59億15百万円へ22億44百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(265億6百万円から201億32百万円へ63億73百万円減)、未払金(31億51百万円から14億51百万円へ17億円減)、未払法人税等(5億54百万円から50百万円へ5億4百万円減)、引当金(8億90百万円から2億18百万円へ6億71百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は197億44百万円で、前連結会計年度末に比べ3億44百万円減少しております。主な要因は、配当金の支払による4億31百万円の減少により利益剰余金(175億32百万円から172億20百万円へ3億12百万円減)が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表したとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,662	11,305
受取手形及び売掛金	27,546	16,651
電子記録債権	4,370	5,522
有価証券	150	100
商品	3,818	3,441
原材料	33	35
未成工事支出金	353	190
仕掛品	306	306
未収入金	2,095	422
その他	1,740	3,117
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	49,073	41,090
固定資産		
有形固定資産	5,826	6,759
無形固定資産	406	390
投資その他の資産		
その他	3,481	3,408
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	3,476	3,403
固定資産合計	9,710	10,553
資産合計	58,783	51,644
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,506	20,132
前受金	3,671	5,915
短期借入金	695	695
未払金	3,151	1,451
未払法人税等	554	50
引当金	890	218
その他	577	800
流動負債合計	36,046	29,263
固定負債		
長期借入金	140	140
繰延税金負債	27	41
退職給付に係る負債	2,373	2,347
資産除去債務	16	16
その他	91	91
固定負債合計	2,647	2,636
負債合計	38,694	31,899

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	17,532	17,220
自己株式	△204	△204
株主資本合計	19,950	19,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	437	404
退職給付に係る調整累計額	△685	△670
その他の包括利益累計額合計	△248	△266
非支配株主持分	386	372
純資産合計	20,089	19,744
負債純資産合計	58,783	51,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	13,693	13,528
売上原価	11,323	11,055
売上総利益	2,369	2,472
販売費及び一般管理費	2,260	2,307
営業利益	108	164
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	18
不動産賃貸料	0	0
業務受託料	17	14
その他	27	12
営業外収益合計	63	46
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	1	0
為替差損	—	4
不動産賃貸原価	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	3	6
経常利益	169	205
特別利益		
固定資産売却益	255	—
保険解約返戻金	—	0
特別利益合計	255	0
特別損失		
固定資産除却損	0	—
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	424	205
法人税、住民税及び事業税	15	36
法人税等調整額	140	48
法人税等合計	156	85
四半期純利益	268	120
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	270	118

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	268	120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△33
退職給付に係る調整額	36	15
その他の包括利益合計	68	△18
四半期包括利益	336	101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	101
非支配株主に係る四半期包括利益	3	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,383	8,662	1,647	13,693	—	13,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	45	0	46	△46	—
計	3,384	8,707	1,647	13,739	△46	13,693
セグメント利益	106	379	40	526	△417	108

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「プラント事業」において、(株)三陽プラント建設の一部株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、131百万円でありませ

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,964	8,817	1,745	13,528	—	13,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	20	0	43	△43	—
計	2,987	8,838	1,745	13,571	△43	13,528
セグメント利益	62	466	62	591	△426	164

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。